

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 27 日

フォーラムエンジニアリング健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

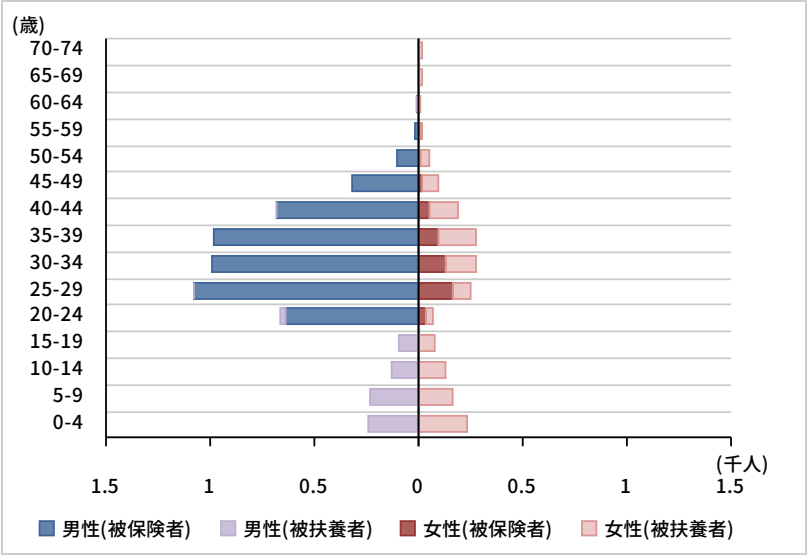
組合コード	28991		
組合名称	フォーラムエンジニアリング健康保険組合		
形態	単一		
業種	労働者派遣業		
	平成30年度見込み	平成31年度見込み	平成32年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	5,120名 男性89.6% (平均年齢33.7歳) * 女性10.4% (平均年齢32.9歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	6,949名	-名	-名
適用事業所数	4カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	21カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	104‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	18	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

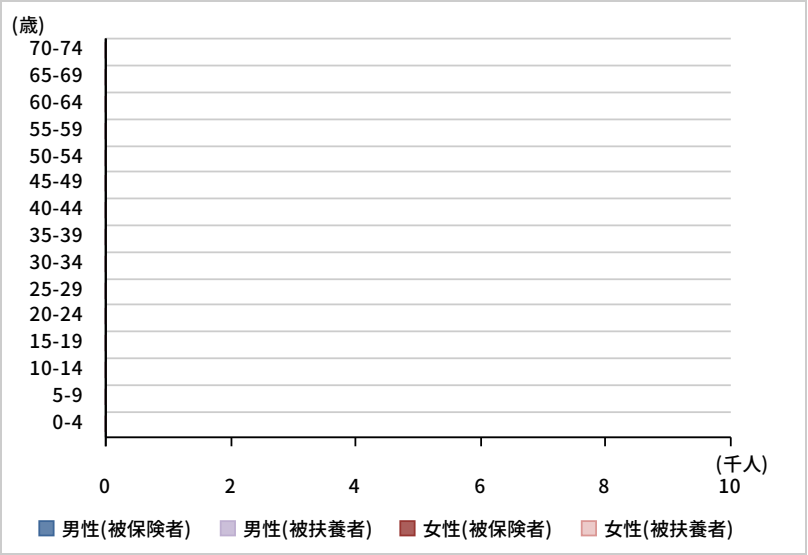
			第2期における基礎数値
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,364 / 1,567 = 87.0 %	
	被保険者	1,127 / 1,214 = 92.8 %	
	被扶養者	237 / 353 = 67.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	23 / 321 = 7.2 %	
	被保険者	23 / 310 = 7.4 %	
	被扶養者	0 / 11 = 0.0 %	

		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	6,580	1,285	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	1,118	218	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,524	1,274	-	-	-	-
	疾病予防費	86,904	16,973	-	-	-	-
	体育奨励費	4,150	811	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	25,792	5,038	-	-	-	-
	小計 …a	131,068	25,599	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	2,180,897	425,956	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	6.01		-		-	

平成30年度見込み



平成31年度見込み



平成32年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	640人	25～29	1,074人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	988人	35～39	986人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	685人	45～49	322人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	103人	55～59	19人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	9人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	36人	25～29	167人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	133人	35～39	96人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	48人	45～49	20人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	12人	55～59	5人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	244人	5～9	236人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	132人	15～19	95人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	30人	25～29	3人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	236人	5～9	164人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	133人	15～19	80人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	38人	25～29	82人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	146人	35～39	181人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	142人	45～49	79人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	40人	55～59	12人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	9人	65～69	21人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

加入者は30歳代が最も多く、その多くを男性被保険者が占める。被保険者の加入・脱退が頻繁にある（平均在籍年数は3年）

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
■特定保健指導の対象者数が少なく、実施者数も少ない。
■特定保健指導は引き続き周知案内を徹底し、業種の特性に合った実施方法を取り入れていくと共に、若年者向けの事業を検討する。

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	事業主との連携（コラボヘルス）
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	一般健診
疾病予防	成人病予防健診
疾病予防	婦人検診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康診断事後措置の健康指導
疾病予防	2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）
疾病予防	健康相談室での健康相談・保健指導
疾病予防	メンタルヘルス
疾病予防	家庭用常備薬購入補助金制度
疾病予防	インフルエンザ予防接種の補助金支給
体育奨励	スポーツクラブ補助
その他	契約保養所
その他	旅行宿泊補助
その他	えらべる倶楽部
事業主の取組	
1	定期健康診断、特殊業務健診
2	雇入時の健診
3	業務時間の抑制
4	健康面談

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
予算措置なし	1	事業主との連携（コラボヘルス）	【目的】若年層を含めた全年齢の被保険者における健康増進 【概要】若年層を含めた健康増進事業を事業主と連携実施 ※①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	0	①③は健保主体で継続実施 ②④は事業主主体で継続実施	事業主との定期的な情報共有により課題を共有し、スムーズな連携が出来ている。	今後、アウトプット・アウトカム指標の共有が必要と考えている。	5
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	機関紙発行	【目的】健診受診勧奨・ジェネリック薬品・使用勧奨・予算・決算等告知 【概要】機関紙（健保ニュース）を年2回発行	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,582	年3回発行（医療費適正化（柔整師のかり方）増刊号も発行） 決算概要表の保健指導宣伝費の中には、「保養所の案内」「健康保険組合ガイド」「契約保養所制度の変更告知冊子」の作成料とホームページの修正料が含まれているため事業報告書の金額と一致しない	定期発行しており、加入者に周知されている。また、タイムリーな健康増進記事等のコンテンツを工夫している。	紙面や配布方法など、読んでもらう工夫が必要と考えている（特に被扶養者）。	5
	8	医療費通知	【目的】健康意識の醸成・医療費 節減意識の啓発 【概要】1年に4回、医療費通知を送付	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,268	年4回発行	定期送付しており、加入者に向けた医療費意識向上に寄与している。	特段の課題は認識していない。	5
疾病予防	2	健康診断受診時の健康に対する意識づけと生活改善指導	【目的】健康に対する意識づけ・生活習慣病予防対策 【概要】健診受診者の多い一部地区で健診時に健診に対する意識づけと生活習慣改善を啓発	被保険者	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	885	273名実施	健診受診の入り口段階での健康指導のため、スムーズに実施できている。	特定保健指導の実施率向上に寄与する方法を検討する。	5
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と合わせて実施	被保険者	全て	男女	40～74	全員	7,295	受診者数 1,177人 受診率 92.3%	事業主の定期健診と併せて実施しており、結果の受領などがスムーズに出来ている。	特段の課題は認識していないが、毎年コンスタントに高い受診率を維持するための仕組みが必要と考えている。	4
	3	特定健診（被扶養者）	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制）	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	0	受診者数 188人 受診率 64.4%	被扶養者にとり受けやすいコースを複数提供しており、また、若年層からの健診受診の習慣づけが進んでいることが受診率向上に寄与している。	今後も高い受診率を継続するため、広報誌等で定期的な啓発を実施していく必要がある。	5
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	332	被保険者 22人 被扶養者 1人	特定保健指導の終了者は比較的高い改善率であると考えている。	被保険者はコラボヘルス（保健指導を受ける時間の確保等）による事業所実施が望ましいが、業務上困難なケースが多い。また、対象者のモチベーションの醸成が必要。	3
疾病予防	3	一般健診	【目的】病気の早期発見 【概要】35歳未満を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施	被保険者被扶養者	全て	男女	18～34	全員	16,809	受診者数 2,062人 ※健診勧奨のパンフレット代等あり事業報告書の金額と一致しない	若年層からの意識付けを実施していることで、受診者数が増加している。	事後措置等も実施しており、特段の課題は認識していないが、より若い層からの健康リスク減少につなげていく必要がある。	5
	3	成人病予防健診	【目的】病気の早期発見 【概要】35歳以上を対象とした労働安全衛生法に基づく検査項目の実施	被保険者被扶養者	全て	男女	35～39	全員	34,410	受診者数 2,153人	若年層からの意識付けを実施していることで、受診者数が増加している。	事後措置等も実施しており、特段の課題は認識していないが、特定保健指導の対象者減少につなげていく必要がある。	5
	3	婦人検診	【目的】病気の早期発見 【概要】子宮頸がん検査・乳がん検査を事業主健診と合わせて実施	被保険者被扶養者	全て	女性	18～39	全員	9,466	受診者数 609人	事業主健診と婦人科を合わせて実施している。	年齢により受診率にばらつきがある	4

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	人間ドック	【目的】 病気の早期発見 【概要】 40歳以上の希望者へ実施（最大5万円まで費用補助）	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	5,365	受診者数 114人	継続実施している。	特段の課題は認識していないが、今後の受診者数増に伴う費用増を想定した対策（例えば、年齢層を考慮したメリハリのある周知など）も必要と考えている。	4
	4	健康診断事後措置の健康指導	【目的】 早期治療誘導による重症化予防 【概要】 健診結果を踏まえて、健保顧問医師の指示のもと看護師が受診勧奨等実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	119	受診者数 701人	健保顧問医師による動機付け、健康指導、受診勧奨。	特段の課題は認識していないが、今後、特定保健指導の実施率向上の仕組みが必要と考えている。	5
	3	2次健診の受診料全額補助（除く人間ドックによる対象発見）	【目的】 病気の早期発見 【概要】 精密検査・再検査の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	3,447	受診者数 351人	健保が全額補助しており、2次健診の受診率向上に寄与している。	さらなる2次健診の受診率向上対策を、事業主とともに講じていく。	4
	4	健康相談室での健康相談・保健指導	【目的】 病気の早期発見・健康指導・インフル予防 【概要】 医師・看護師による診断・指導実施・インフル予防接種実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	3,000	月2回（本社にて）実施	医療職による面談であり、指導による（本人の）納得度に効果がある。	特段の課題は認識していないが、今後、特定保健指導の実施率向上の仕組みが必要と考えている。	5
	3,6	メンタルヘルス	【目的】 精神疾患防止と傷病手当軽減 【概要】 保健同人社「心の相談」に委託（電話・メール・面談）	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,080	年間利用者数81名 データヘルス計画での分析に基づき、効果があると思われる時期に2回チラシを配布。 被扶養者の健診案内にも「こころの相談」チラシを同封配布した。	チラシ・ホームページ等による被保険者・被扶養者への制度の告知を実施している。	必要な保健事業であるが、匿名相談でありアウトカムの測定が困難である。	4
	3	家庭用常備薬購入補助金制度	【目的】 健康管理対策の一助 【概要】 家庭用常備薬購入斡旋し購入金額の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,679	既存加入者に常備薬斡旋パンフを配布、一部金額（最高1,500円まで）を補助	定期的に実施しており、加入者の健康増進（セルフメディケーション）に寄与している。	必要な保健事業であるが、医療費削減効果などアウトカムの測定が困難である。	4
体育奨励 その他	3	インフルエンザ予防接種の補助金支給	【目的】 健康管理対策の補助 【概要】 インフルエンザ予防接種の代金の一部を補助し、医療費の削減を図る	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	485	利用者数485名（補助金額1人あたり、1,000円） 利用案内を事前に配布、ホームページも利用し周知を図った。	定期的に実施しており、加入者の健康増進（インフルエンザ予防）に寄与している。	必要な保健事業であるが、罹患率や医療費削減効果などアウトカムの測定が困難である。	3
	8	スポーツクラブ補助	【目的】 健康・体力・運動習慣づくり 【概要】 スポーツクラブ利用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	3,472	利用者数 1,590人	継続実施しており、加入者の健康増進（運動習慣）に寄与している。	運動してもらいたい層の利用が少ないと考えている。また、利用者数が減少傾向である。	4
	8	契約保養所	【目的】 リフレッシュ 【概要】 被保険者・被扶養者の保養	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	5,034	利用者数 211人（28年4月～6月）	補助金の充実度（1泊あたりの補助金、他健保比多い）。家族等との休暇時のメンタルリフレッシュ効果。	利用者が限定されていると考えている。また、アウトカム（満足度等）の測定が困難である。	4
	8	旅行宿泊補助	【目的】 リフレッシュ 【概要】 被保険者・被扶養者の保養	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	8,764	<東急ハーベストクラブ> 1,085人 <かんぼの宿・ハイツ&いこいの村> 27泊26名	宿泊施設等のメニューの充実度。	特段の課題は認識していないが、定期的な補助内容の見直しが必要と考えている。	5
	8	えらべる倶楽部	【目的】 健康増進、保養リフレッシュ 【概要】 契約旅館、ホテル宿泊に対し1泊当たり2,000円を補助。利用可能スポーツクラブの拡大、とディズニーランド等利用メニューの拡大による新たなリフレッシュ方法提供での健康増進、メンタルケア。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	11,301	契約保養所宿泊利用、541名（28年7月～29年3月） スポーツクラブ利用309名、ディズニー・USJ201名、レジャー観光施設利用91名、相談・ライフプラン45名、イーラーニングスキルアップ30名ほか。	宿泊施設の多さと宿泊メニューの豊富さ。育児相談、介護相談等生活相談も含め利用メニューが多いこと。	宿泊補助金の金額の妥当性を見極め。	4

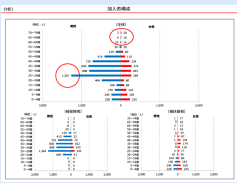
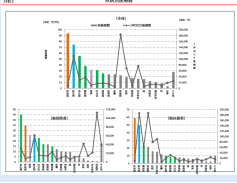
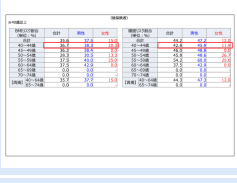
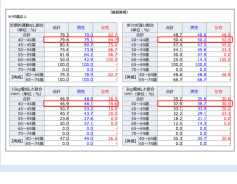
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

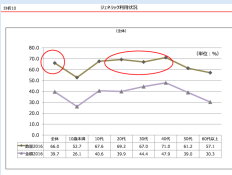
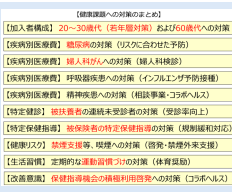
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

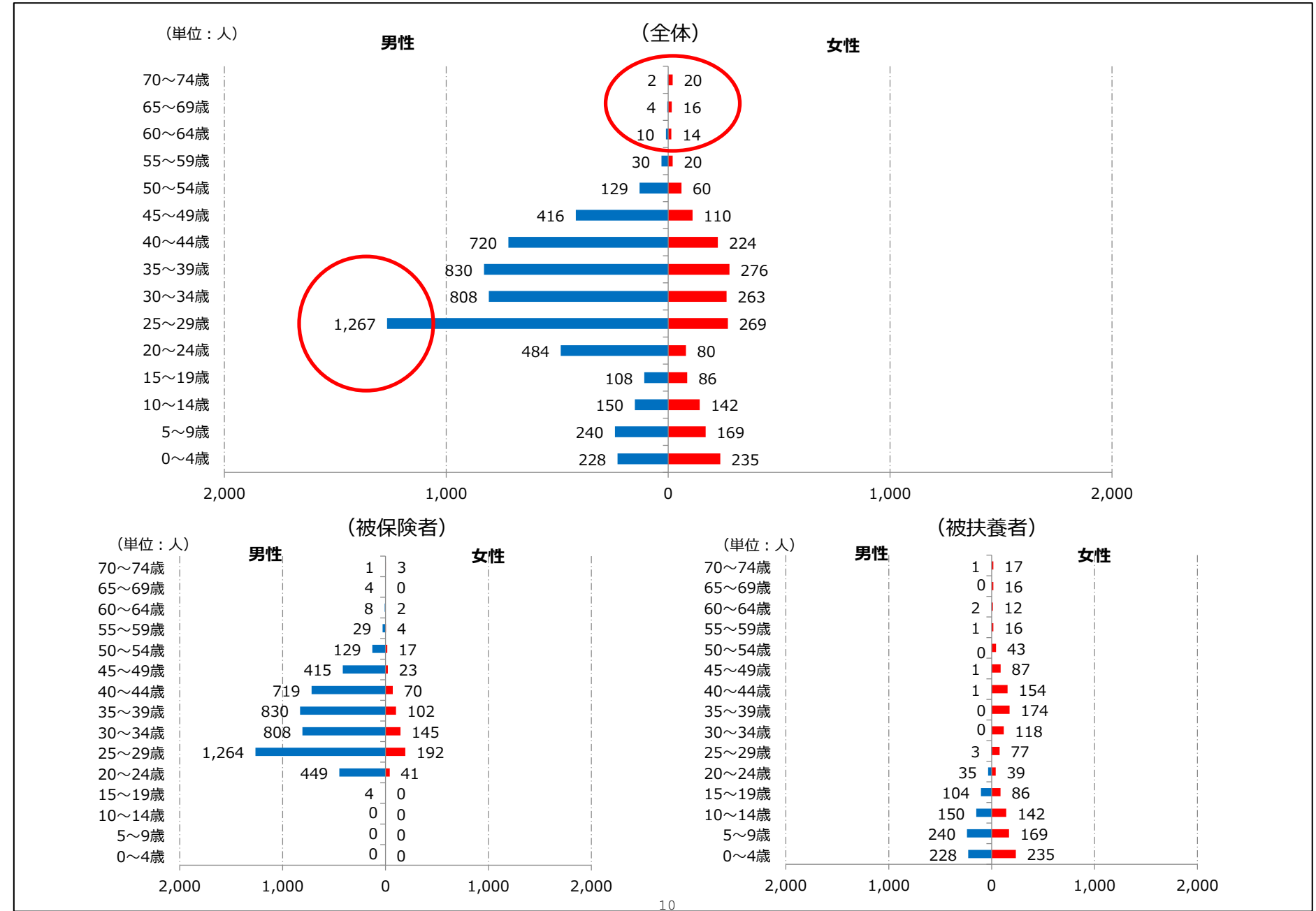
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り				共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
事業主の取組									
定期健康診断、特殊業務健診	労働安全衛生法に基づく健診実施	被保険者	男女	18 ～ 74	4月～12月実施率87.7%	-	-	-	有
雇入時の健診	雇入の都度実施	被保険者	男女	18 ～ 74	実施率 98.1%	-	-	-	無
業務時間の抑制	水曜定時退社、派遣社員の長時間勤務者との面談と派遣先面談	被保険者	男女	18 ～ 74	本社、営業拠点は水曜定時退社実施、2か月連続超時間勤務派遣社員の面談等実施	-	-	-	無
健康面談	長時間勤務者の問診票等提出	被保険者	男女	18 ～ 74	実施者数3人	-	-	-	無

STEP1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

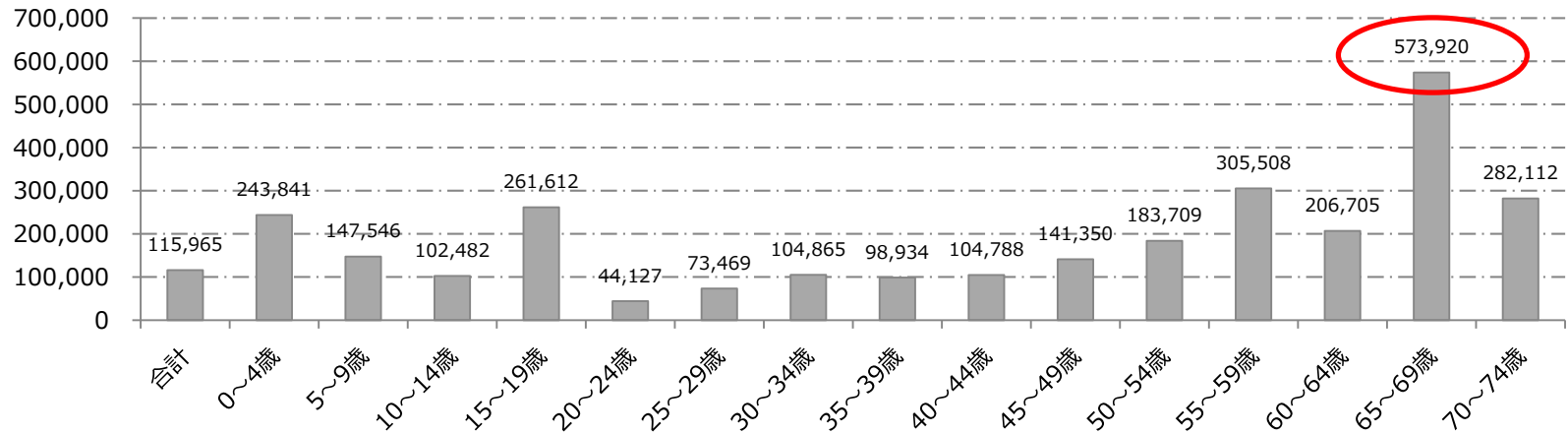
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		① 加入者構成	加入者構成の分析	-
イ		② 医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		③ 疾病別医療費	医療費・患者数分析	-
エ		④ 着目疾病	医療費・患者数分析	-
オ		⑤ 健康リスク	健康リスク分析	-
カ		⑥ 生活習慣・改善意識	健康リスク分析	-

キ		⑦ 高リスク	健康リスク分析	-
ク		⑧ ジェネリック	後発医薬品分析	-
ケ		⑨ 健康課題	その他	-

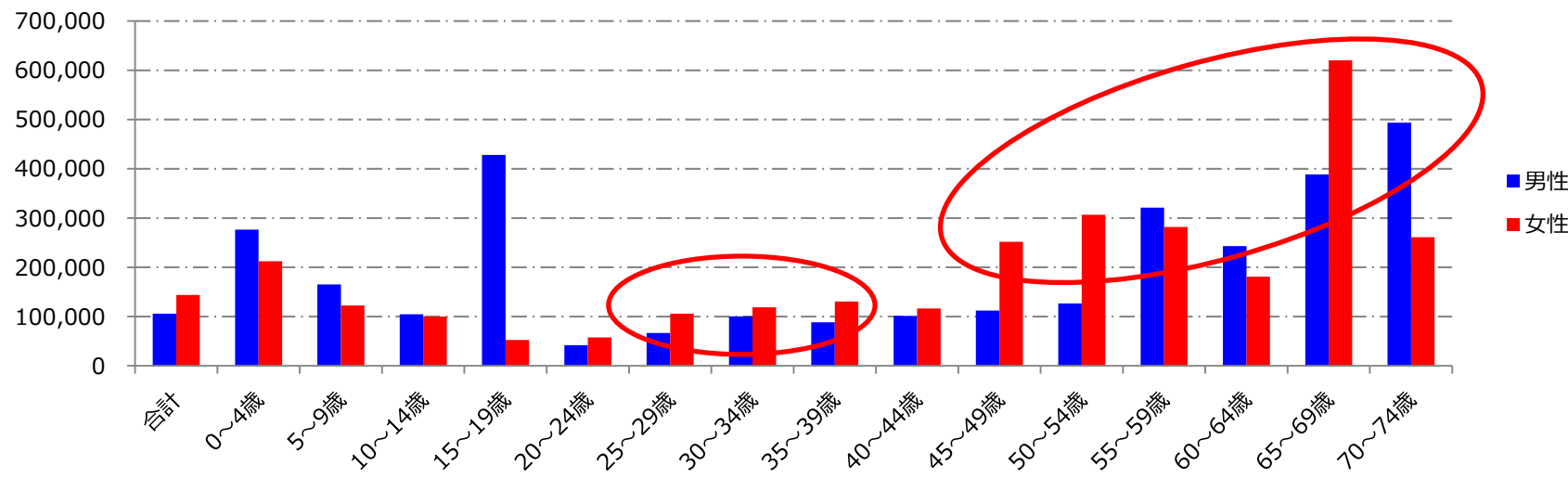


※2016年度の一人当たり医療費 (全体)

(単位：円)

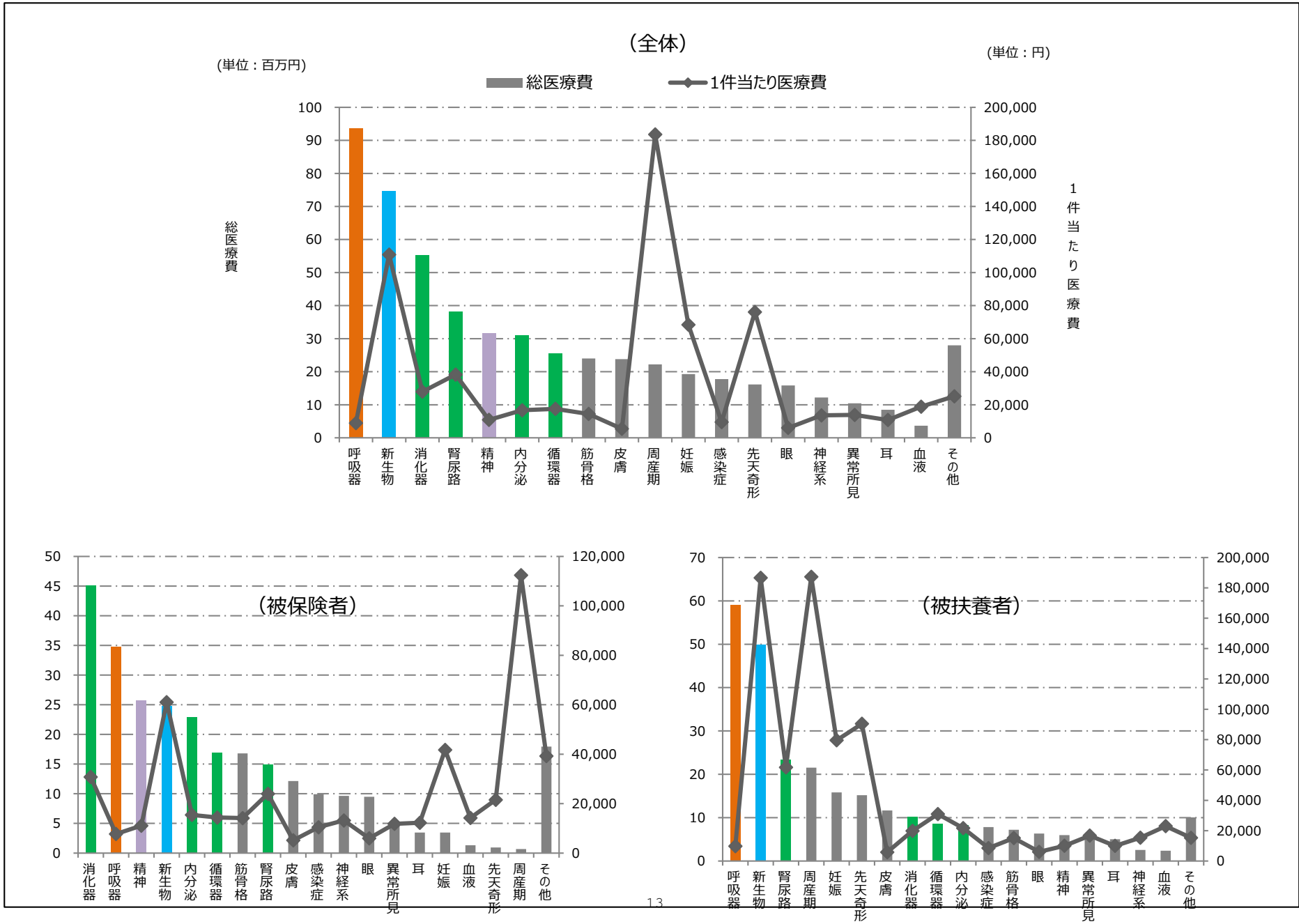


(単位：円)



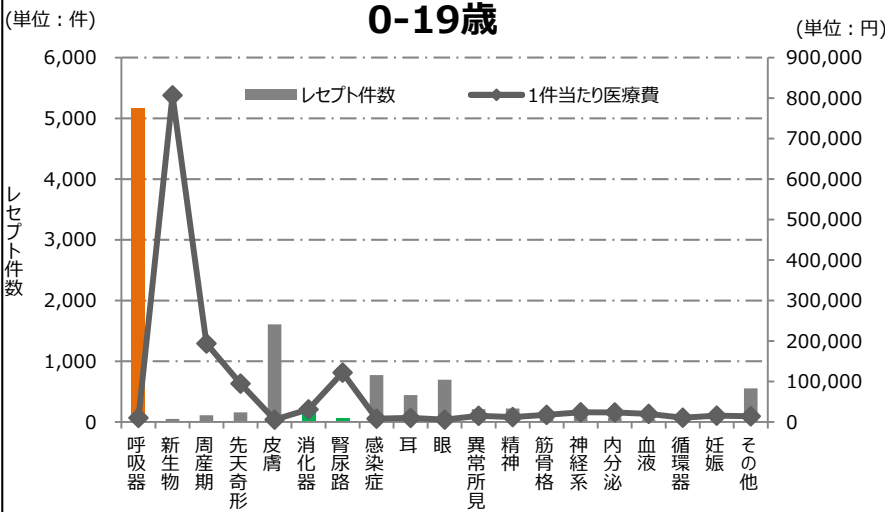
	総医療費（単位：円）				1人当たり医療費（単位：円）			
	入院	外来	歯科	調剤	入院	外来	歯科	調剤
合計	231,268,730	336,141,680	115,706,560	176,186,170	31,210	45,363	15,615	23,777
0～4歳	51,443,290	45,049,400	1,253,210	15,152,710	111,109	97,299	2,707	32,727
5～9歳	7,757,710	28,345,780	10,636,120	13,606,750	18,968	69,305	26,005	33,268
10～14歳	3,635,090	12,944,210	4,283,630	9,061,780	12,449	44,329	14,670	31,033
15～19歳	41,222,440	5,480,690	1,763,270	2,286,380	212,487	28,251	9,089	11,785
20～24歳	3,030,050	11,338,010	6,024,970	4,494,760	5,372	20,103	10,683	7,969
25～29歳	17,843,300	50,693,360	21,923,150	22,389,320	11,617	33,003	14,273	14,576
30～34歳	40,317,900	34,754,490	17,261,290	19,976,410	37,645	32,451	16,117	18,652
35～39歳	16,997,860	45,609,030	19,448,000	27,365,970	15,369	41,238	17,584	24,743
40～44歳	15,580,120	40,505,980	17,083,120	25,751,000	16,504	42,909	18,097	27,279
45～49歳	13,177,190	32,180,790	10,201,490	18,790,840	25,052	61,180	19,394	35,724
50～54歳	7,066,370	15,951,680	3,622,610	8,080,420	37,388	84,400	19,167	42,754
55～59歳	5,869,110	4,193,230	772,250	4,440,820	117,382	83,865	15,445	88,816
60～64歳	795,650	2,440,440	545,730	1,179,110	33,152	101,685	22,739	49,130
65～69歳	6,498,230	2,799,120	372,210	1,808,840	324,912	139,956	18,611	90,442
70～74歳	34,420	3,855,470	515,510	1,801,060	1,565	175,249	23,432	81,866

	受診率（単位：件）			1件当たり日数（単位：日）			1日当たり医療費（単位：円）		
	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科
合計	6.6	483.2	137.3	8.28	1.41	1.71	56,865	6,649	6,648
0～4歳	24.2	1,034.1	27.2	7.58	1.62	1.44	60,593	5,800	6,924
5～9歳	3.9	857.2	309.5	6.00	1.50	1.35	80,809	5,399	6,224
10～14歳	3.1	595.5	181.8	5.78	1.39	1.34	69,906	5,344	6,025
15～19歳	9.3	383.0	85.6	11.89	1.35	1.77	192,628	5,481	6,018
20～24歳	1.2	248.0	89.7	8.29	1.30	1.81	52,242	6,240	6,563
25～29歳	4.1	337.0	114.9	6.38	1.30	1.78	44,386	7,536	6,982
30～34歳	9.1	386.3	131.2	9.38	1.34	1.84	44,305	6,271	6,667
35～39歳	5.1	424.9	146.9	6.21	1.37	1.79	48,844	7,074	6,674
40～44歳	4.3	479.2	148.9	6.88	1.35	1.83	55,249	6,643	6,657
45～49歳	4.4	512.2	161.0	5.35	1.49	1.76	107,132	8,039	6,860
50～54歳	7.9	663.5	163.5	10.33	1.50	1.79	45,589	8,467	6,563
55～59歳	36.0	842.0	172.0	18.17	1.39	1.44	17,948	7,168	6,228
60～64歳	16.7	970.8	200.0	6.75	1.24	1.69	29,469	8,474	6,737
65～69歳	55.0	1,100.0	170.0	20.27	1.48	1.62	29,140	8,586	6,767
70～74歳	4.5	1,240.9	240.9	1.00	1.47	1.62	34,420	9,639	5,994

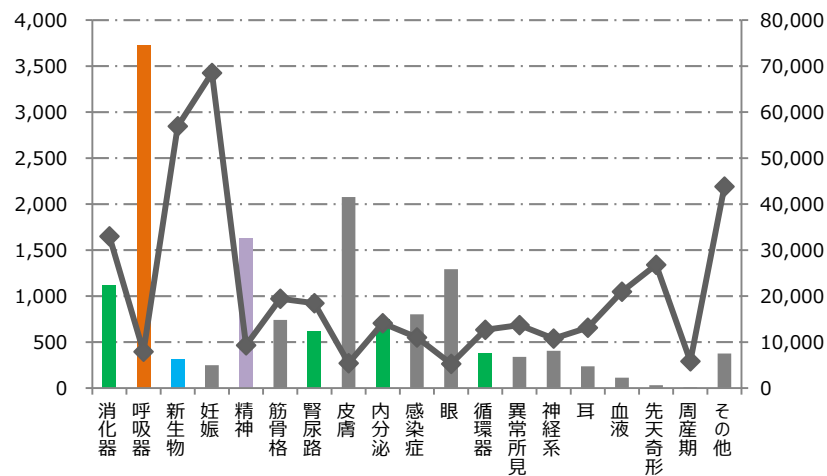


(全体)

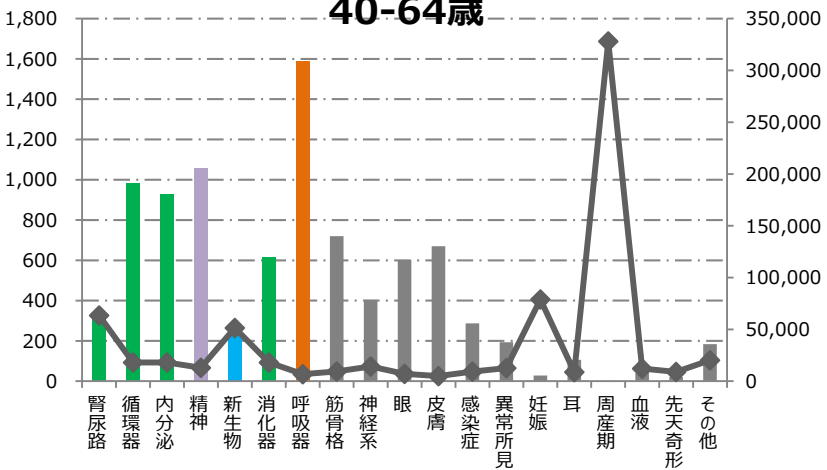
0-19歳



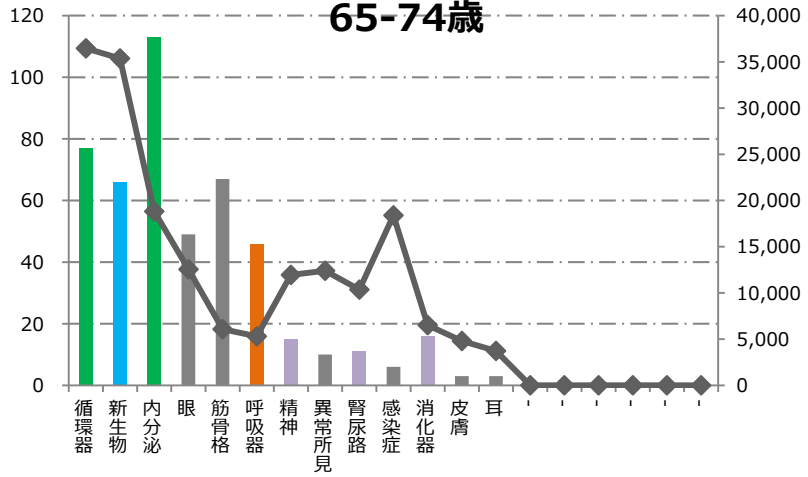
20-39歳



40-64歳



65-74歳



(全体)						
男性		1位	2位	3位	4位	5位
総医療費 (円)	0～9歳	妊娠及び胎児発育に関連する障害	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	喘息	その他の急性上気道感染症	その他の周産期に発生した病態
	10～19歳	白血病	その他の呼吸器系の疾患	その他損傷及びその他外因の影響	その他の精神及び行動の障害	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
	20～29歳	その他の消化器系の疾患	その他損傷及びその他外因の影響	その他の呼吸器系の疾患	皮膚炎及び湿疹	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	30～39歳	良性新生物及びその他の新生物	その他の消化器系の疾患	その他損傷及びその他外因の影響	腎不全	関節症
	40～49歳	糖尿病	虚血性心疾患	その他の神経系の疾患	高血圧性疾患	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	50～59歳	知的障害（精神遅滞）	高血圧性疾患	虚血性心疾患	糖尿病	その他の消化器系の疾患
	60～69歳	その他の悪性新生物	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の神経系の疾患	前立腺肥大（症）
	70歳～	糖尿病	その他の消化器系の疾患	屈折及び調節の障害	その他の眼及び付属器の疾患	-
レセプト1件当たり 医療費 (円)	0～9歳	妊娠及び胎児発育に関連する障害	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	その他の神経系の疾患	その他の周産期に発生した病態	肺炎
	10～19歳	白血病	骨の密度及び構造の障害	肺炎	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	骨折
	20～29歳	その他の消化器系の疾患	骨折	中耳炎	精神作用物質使用による精神行動障害	その他の感染症及び寄生虫症
	30～39歳	胆石症及び胆のう炎	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	腎不全	良性新生物及びその他の新生物	関節症
	40～49歳	その他の悪性新生物	結腸の悪性新生物	その他の腎尿路系の疾患	虚血性心疾患	腎不全
	50～59歳	知的障害（精神遅滞）	直腸S状結腸及び直腸の悪性新生物	虚血性心疾患	その他の消化器系の疾患	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
	60～69歳	その他の悪性新生物	その他の消化器系の疾患	前立腺肥大（症）	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	その他の神経系の疾患
	70歳～	糖尿病	その他の眼及び付属器の疾患	屈折及び調節の障害	その他の消化器系の疾患	-
受診率 (件)	0～9歳	喘息	その他の急性上気道感染症	皮膚炎及び湿疹	急性気管支炎及び急性細気管支炎	アレルギー性鼻炎
	10～19歳	アレルギー性鼻炎	皮膚炎及び湿疹	その他損傷及びその他外因の影響	喘息	屈折及び調節の障害
	20～29歳	皮膚炎及び湿疹	屈折及び調節の障害	その他の急性上気道感染症	神経症性障害、ストレス関連障害	アレルギー性鼻炎
	30～39歳	皮膚炎及び湿疹	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	神経症性障害、ストレス関連障害	アレルギー性鼻炎	その他の急性上気道感染症
	40～49歳	高血圧性疾患	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	糖尿病	皮膚炎及び湿疹	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	50～59歳	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	屈折及び調節の障害
	60～69歳	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他の悪性新生物	その他の神経系の疾患	前立腺肥大（症）
	70歳～	糖尿病	その他の消化器系の疾患	屈折及び調節の障害	その他の眼及び付属器の疾患	-

女性		1位	2位	3位	4位	5位
総医療費 (円)	0～9歳	その他の先天奇形、変形染色体異常	心臓の先天奇形	喘息	急性気管支炎及び急性細気管支炎	肺炎
	10～19歳	その他の消化器系の疾患	屈折及び調節の障害	糖尿病	その他損傷及びその他外因の影響	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	20～29歳	その他の妊娠、分娩及び産じょく	良性新生物及びその他の新生物	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	貧血	その他の内耳疾患
	30～39歳	その他の妊娠、分娩及び産じょく	妊娠高血圧症候群	炎症性多発性関節障害	良性新生物及びその他の新生物	アレルギー性鼻炎
	40～49歳	腎不全	良性新生物及びその他の新生物	その他の心疾患	その他の妊娠、分娩及び産じょく	神経症性障害、ストレス関連障害
	50～59歳	腎不全	糖尿病	結腸の悪性新生物	低血圧（症）	骨折
	60～69歳	脳梗塞	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	高血圧性疾患	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	糖尿病
	70歳～	乳房の悪性新生物	良性新生物及びその他の新生物	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	高血圧性疾患
レセプト1件当たり 医療費 (円)	0～9歳	その他の悪性新生物	心臓の先天奇形	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	肺炎	良性新生物及びその他の新生物
	10～19歳	骨の密度及び構造の障害	妊娠及び胎児発育に関連する障害	その他の消化器系の疾患	糖尿病	良性新生物及びその他の新生物
	20～29歳	その他の内耳疾患	その他の感染症及び寄生虫症	虚血性心疾患	肺炎	良性新生物及びその他の新生物
	30～39歳	妊娠高血圧症候群	その他の悪性新生物	炎症性多発性関節障害	その他の妊娠、分娩及び産じょく	動脈硬化（症）
	40～49歳	妊娠及び胎児発育に関連する障害	腎不全	その他の心疾患	尿路結石症	その他の妊娠、分娩及び産じょく
	50～59歳	低血圧（症）	腎不全	糖尿病	その他損傷及びその他外因の影響	結腸の悪性新生物
	60～69歳	脳梗塞	その他の感染症及び寄生虫症	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	70歳～	良性新生物及びその他の新生物	乳房の悪性新生物	ウイルス肝炎	脳内出血	屈折及び調節の障害
受診率 (件)	0～9歳	喘息	皮膚炎及び湿疹	その他の急性上気道感染症	急性気管支炎及び急性細気管支炎	アレルギー性鼻炎
	10～19歳	屈折及び調節の障害	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	アレルギー性鼻炎	その他の急性上気道感染症	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	20～29歳	皮膚炎及び湿疹	屈折及び調節の障害	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	その他の急性上気道感染症
	30～39歳	皮膚炎及び湿疹	その他の急性上気道感染症	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
	40～49歳	屈折及び調節の障害	良性新生物及びその他の新生物	皮膚炎及び湿疹	アレルギー性鼻炎	その他の急性上気道感染症
	50～59歳	その他の神経系の疾患	高血圧性疾患	月経障害及び閉経周辺期障害	喘息	胃炎及び十二指腸炎
	60～69歳	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	高血圧性疾患	関節症	アレルギー性鼻炎	糖尿病
	70歳～	高血圧性疾患	乳房の悪性新生物	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	屈折及び調節の障害

※新生物のレセプト件数

(全体)

2012年度		2013年度		入院・外来 2014年度		2015年度		2016年度	
良性新生物及びその他の新生物	377	良性新生物及びその他の新生物	400	良性新生物及びその他の新生物	401	良性新生物及びその他の新生物	482	良性新生物及びその他の新生物	456
その他の悪性新生物	49	その他の悪性新生物	60	その他の悪性新生物	76	その他の悪性新生物	77	その他の悪性新生物	78
結腸の悪性新生物	27	結腸の悪性新生物	40	結腸の悪性新生物	42	結腸の悪性新生物	55	結腸の悪性新生物	51
気管、気管支及び肺の悪性新生物	24	乳房の悪性新生物	25	乳房の悪性新生物	38	乳房の悪性新生物	35	乳房の悪性新生物	46
乳房の悪性新生物	20	子宮の悪性新生物	20	子宮の悪性新生物	24	気管、気管支及び肺の悪性新生物	15	白血病	12
肝及び肝内胆管の悪性新生物	14	気管、気管支及び肺の悪性新生物	15	気管、気管支及び肺の悪性新生物	14	子宮の悪性新生物	15	子宮の悪性新生物	11
胃の悪性新生物	10	肝及び肝内胆管の悪性新生物	13	胃の悪性新生物	10	胃の悪性新生物	9	気管、気管支及び肺の悪性新生物	9
子宮の悪性新生物	6	胃の悪性新生物	12	肝及び肝内胆管の悪性新生物	5	白血病	9	胃の悪性新生物	7
悪性リンパ腫	1	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	9	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	3	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	2	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	3
白血病	1	悪性リンパ腫	1	悪性リンパ腫	2	悪性リンパ腫	1	-	-

※精神のレセプト件数

2012年度		2013年度		入院・外来 2014年度		2015年度		2016年度	
気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,004	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,142	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,135	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,053	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1,157
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	531	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	664	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	791	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	831	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,047
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	288	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	311	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	374	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	335	その他の精神及び行動の障害	334
その他の精神及び行動の障害	172	その他の精神及び行動の障害	193	その他の精神及び行動の障害	230	その他の精神及び行動の障害	237	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	317
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	43	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	42	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	42	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	30	知的障害（精神遅滞）	34
-	-	知的障害（精神遅滞）	1	知的障害（精神遅滞）	1	知的障害（精神遅滞）	6	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	25

(全体)

※生活習慣病の受診人数

入院・外来					
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
肝疾患	84	88	124	137	146
高尿酸血症	93	115	132	164	173
高脂血症	170	213	196	209	216
高血圧性疾患及び合併症	177	216	221	226	226
糖尿病及び合併症	114	156	165	174	158
動脈硬化	26	29	26	35	32
腎疾患	1	2	2	4	3
脳血管疾患	13	11	12	23	21
虚血性心疾患等	29	52	45	51	50

※人工透析導入者数

	人工透析導入者														
	合計					男性					女性				
	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
合計	4	5	5	5	4	0	1	1	2	1	4	4	4	3	3
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	0	1	1	2	1	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0
40～44歳	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
45～49歳	1	2	3	2	2	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2
50～54歳	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
55～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(被保険者)

※40歳以上

BMIリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		35.6	37.5	15.0
40～44歳		36.7	38.3	20.3
45～49歳		36.2	38.4	0.0
50～54歳		28.3	30.5	13.3
55～59歳		37.5	40.0	25.0
60～64歳		37.5	42.9	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	35.7	37.7	15.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

腹囲リスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		44.2	47.2	12.0
40～44歳		42.8	45.9	11.9
45～49歳		46.0	48.8	0.0
50～54歳		45.8	48.6	26.7
55～59歳		54.2	60.0	25.0
60～64歳		37.5	42.9	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	44.3	47.3	12.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

(被保険者)

※40歳以上

血糖リスク割合 空腹時 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		26.4	27.7	13.1
40～44歳		21.4	22.9	6.9
45～49歳		28.8	30.6	0.0
50～54歳		40.3	39.4	46.7
55～59歳		37.5	40.0	25.0
60～64歳		50.0	42.9	100.0
65～69歳		100.0	100.0	-
70～74歳		100.0	100.0	-
【再掲】	40～64歳	26.2	27.5	13.1
	65～74歳	100.0	100.0	-

HbA1cリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		26.4	27.0	20.0
40～44歳		21.1	22.6	6.8
45～49歳		29.9	30.8	14.3
50～54歳		34.2	29.5	66.7
55～59歳		50.0	50.0	50.0
60～64歳		75.0	71.4	100.0
65～69歳		100.0	100.0	-
70～74歳		100.0	100.0	-
【再掲】	40～64歳	26.2	26.8	20.0
	65～74歳	100.0	100.0	-

血圧リスク割合 収縮期 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		20.9	22.0	9.0
40～44歳		19.4	20.3	10.2
45～49歳		22.1	23.1	4.8
50～54歳		22.5	23.8	13.3
55～59歳		29.2	35.0	0.0
60～64歳		37.5	42.9	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		100.0	100.0	-
【再掲】	40～64歳	20.9	22.0	9.0
	65～74歳	33.3	33.3	-

血圧リスク割合 拡張期 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		20.5	21.5	10.0
40～44歳		16.8	17.5	10.2
45～49歳		25.3	26.3	9.5
50～54歳		26.7	28.6	13.3
55～59歳		20.8	25.0	0.0
60～64歳		12.5	14.3	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	20.5	21.5	10.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

(被保険者)

※40歳以上

中性脂肪リスク割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		24.9	26.9	3.0
40～44歳		23.2	25.1	3.4
45～49歳		28.6	30.3	0.0
50～54歳		26.7	29.5	6.7
55～59歳		12.5	15.0	0.0
60～64歳		12.5	14.3	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	24.9	27.0	3.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

HDLリスク割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		6.9	7.5	0.0
40～44歳		7.4	8.1	0.0
45～49歳		5.7	6.1	0.0
50～54歳		9.2	10.5	0.0
55～59歳		4.2	5.0	0.0
60～64歳		0.0	0.0	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	6.9	7.6	0.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

LDLリスク割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		54.8	56.7	34.0
40～44歳		53.4	55.9	28.8
45～49歳		57.8	59.8	23.8
50～54歳		59.2	59.0	60.0
55～59歳		33.3	25.0	75.0
60～64歳		50.0	57.1	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	54.9	56.9	34.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

(被保険者)

※40歳以上

定期的運動なし割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		79.3	79.0	82.7
40～44歳		79.6	79.1	84.7
45～49歳		80.4	80.7	75.0
50～54歳		75.4	73.8	86.7
55～59歳		81.8	84.2	66.7
60～64歳		50.0	42.9	100.0
65～69歳		100.0	100.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	79.3	78.9	82.7
	65～74歳	100.0	100.0	-

歩くのが遅い割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		48.7	48.8	46.9
40～44歳		50.4	50.2	52.5
45～49歳		47.4	47.5	45.0
50～54歳		44.1	45.6	33.3
55～59歳		50.0	57.9	0.0
60～64歳		25.0	14.3	100.0
65～69歳		100.0	100.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	48.6	48.8	46.9
	65～74歳	66.7	66.7	-

10kg増加した割合 20歳から (単位：％)		合計	男性	女性
合計		46.9	48.8	26.5
40～44歳		46.9	48.1	35.6
45～49歳		50.7	53.2	10.0
50～54歳		40.7	43.7	20.0
55～59歳		23.8	27.8	0.0
60～64歳		50.0	57.1	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	47.0	49.0	26.5
	65～74歳	0.0	0.0	-

3kg増減した割合 1年間で (単位：％)		合計	男性	女性
合計		35.2	35.6	30.6
40～44歳		37.9	38.7	30.5
45～49歳		33.1	33.9	20.0
50～54歳		32.2	29.1	53.3
55～59歳		18.2	21.1	0.0
60～64歳		12.5	14.3	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	35.3	35.7	30.6
	65～74歳	0.0	0.0	-

(被保険者)

※40歳以上

就寝前夕食の割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		38.2	38.5	34.7
40～44歳		38.1	38.2	37.3
45～49歳		39.0	39.3	35.0
50～54歳		37.3	38.8	26.7
55～59歳		40.9	42.1	33.3
60～64歳		25.0	28.6	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	38.3	38.6	34.7
	65～74歳	0.0	0.0	-

夕食後間食の割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		16.8	16.4	21.4
40～44歳		16.8	16.3	22.0
45～49歳		18.6	17.9	30.0
50～54歳		11.0	10.7	13.3
55～59歳		19.0	22.2	0.0
60～64歳		12.5	14.3	0.0
65～69歳		50.0	50.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	16.8	16.3	21.4
	65～74歳	33.3	33.3	-

朝食を抜く割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		23.8	24.9	13.3
40～44歳		26.0	26.9	16.9
45～49歳		23.1	24.2	5.0
50～54歳		19.5	20.4	13.3
55～59歳		9.1	10.5	0.0
60～64歳		0.0	0.0	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	23.9	24.9	13.3
	65～74歳	0.0	0.0	-

早食いの割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		32.2	32.6	27.6
40～44歳		33.2	33.9	27.1
45～49歳		32.1	32.5	25.0
50～54歳		29.1	28.4	33.3
55～59歳		33.3	33.3	33.3
60～64歳		12.5	14.3	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	32.3	32.7	27.6
	65～74歳	0.0	0.0	-

(被保険者)

※40歳以上

毎日飲酒する割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		19.3	19.8	14.3
40～44歳		17.6	17.4	18.6
45～49歳		19.2	20.1	5.0
50～54歳		19.1	22.0	0.0
55～59歳		63.6	63.2	66.7
60～64歳		37.5	42.9	0.0
65～69歳		50.0	50.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	19.3	19.8	14.3
	65～74歳	33.3	33.3	-

3合以上飲酒割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		4.6	4.4	7.1
40～44歳		5.0	4.9	5.9
45～49歳		5.0	4.3	18.8
50～54歳		3.1	3.6	0.0
55～59歳		0.0	0.0	0.0
60～64歳		0.0	0.0	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	4.7	4.4	7.1
	65～74歳	0.0	0.0	-

睡眠不足の割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		44.2	44.6	40.8
40～44歳		44.2	44.6	40.7
45～49歳		46.5	46.6	45.0
50～54歳		39.8	38.8	46.7
55～59歳		42.9	50.0	0.0
60～64歳		14.3	16.7	0.0
65～69歳		50.0	50.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	44.3	44.6	40.8
	65～74歳	33.3	33.3	-

喫煙の割合 (単位：％)		合計	男性	女性
合計		29.4	30.7	16.0
40～44歳		29.8	30.6	22.0
45～49歳		29.2	30.6	4.8
50～54歳		29.2	31.4	13.3
55～59歳		29.2	35.0	0.0
60～64歳		25.0	28.6	0.0
65～69歳		0.0	0.0	0.0
70～74歳		0.0	0.0	0.0
【再掲】	40～64歳	29.5	30.8	16.0
	65～74歳	0.0	0.0	-

※40歳以上

(被保険者)

改善意欲がない割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		25.5	26.3	17.3
40～44歳		23.4	23.9	18.6
45～49歳		29.1	29.7	20.0
50～54歳		29.7	32.0	13.3
55～59歳		13.6	15.8	0.0
60～64歳		0.0	0.0	0.0
65～69歳		50.0	50.0	-
70～74歳		0.0	0.0	-
【再掲】	40～64歳	25.5	26.3	17.3
	65～74歳	33.3	33.3	-

保健指導希望割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		40.3	39.5	49.0
40～44歳		42.2	41.3	50.8
45～49歳		38.4	37.4	55.0
50～54歳		35.6	35.9	33.3
55～59歳		45.5	42.1	66.7
60～64歳		25.0	28.6	0.0
65～69歳		0.0	0.0	-
70～74歳		100.0	100.0	-
【再掲】	40～64歳	40.3	39.5	49.0
	65～74歳	33.3	33.3	-

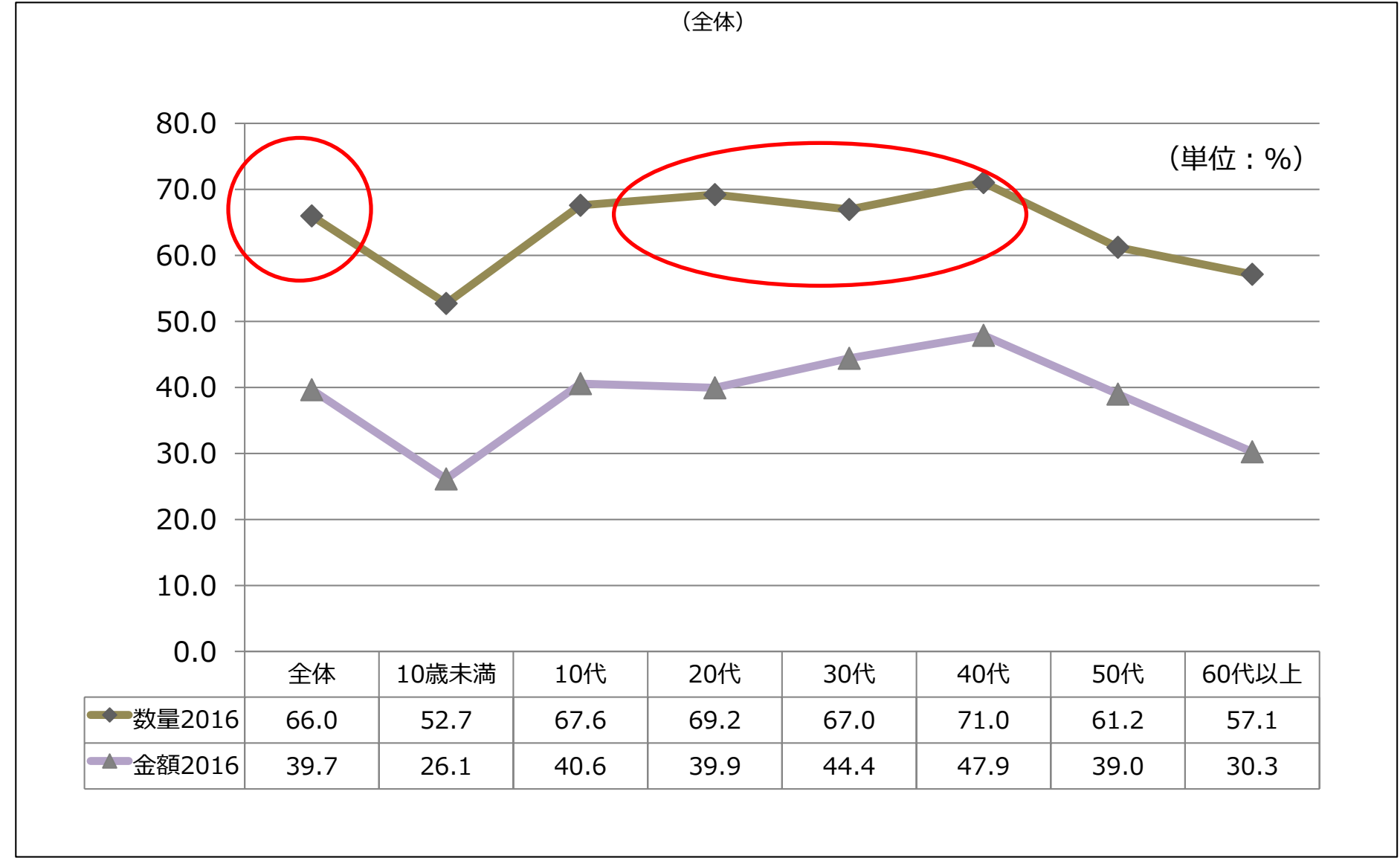
※40歳以上

(被保険者)

肥満 (単位：人)	服薬あり				服薬なし			
	受診勧奨判定値		保健指導判定値		受診勧奨判定値		保健指導判定値	
		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者
脂質のみ	2	0	7	1	30	17	21	15
血圧のみ	1	0	0	0	4	1	4	3
血糖のみ	2	1	5	3	1	2	14	9
血圧＋脂質	7	1	2	1	31	7	6	1
血糖＋脂質	12	3	6	3	47	20	22	15
血糖＋血圧	3	2	5	0	12	3	3	1
血糖＋血圧＋脂質	26	8	1	0	50	19	10	5

非肥満 (単位：人)	服薬あり				服薬なし			
	受診勧奨判定値		保健指導判定値		受診勧奨判定値		保健指導判定値	
		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者
脂質のみ	2	2	1	1	51	32	62	31
血圧のみ	1	0	1	0	4	6	11	2
血糖のみ	1	2	3	1	0	0	42	20
血圧＋脂質	3	0	2	0	7	9	4	3
血糖＋脂質	4	2	2	1	44	13	30	10
血糖＋血圧	4	0	0	0	8	0	5	0
血糖＋血圧＋脂質	3	1	0	1	29	4	10	2

※各健康リスクの受診勧奨判定値、保健指導判定値は厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム」に準拠している。



【健康課題への対策のまとめ】

【加入者構成】 20～30歳代（若年層対策） および60歳代への対策

【疾病別医療費】 糖尿病の対策（リスクに合わせた予防）

【疾病別医療費】 婦人科がんへの対策（婦人科検診）

【疾病別医療費】 呼吸器疾患への対策（インフルエンザ予防接種）

【疾病別医療費】 精神疾患への対策（相談事業・コラボヘルス）

【特定健診】 被扶養者の連続未受診者の対策（受診率向上）

【特定保健指導】 被保険者の特定保健指導の対策（規制緩和対応）

【健康リスク】 禁煙支援等、喫煙への対策（啓発・禁煙外来支援）

【生活習慣】 定期的な運動習慣づけの対策（体育奨励）

【改善意識】 保健指導機会の積極利用啓発への対策（コラボヘルス） 1

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<加入者構成> ①被保険者は圧倒的に男性の割合が多く、扶養率が低い。 ②被保険者男性は、25～29歳が最も多く、30歳代も多い。 ③50歳以上は少ない。 ④子供、前期高齢者の割合が低い。	➡	<左記健康課題への対応> ①ボリュームゾーンである若年層への対応が最重要。 ②特定保健指導（法定義務・40歳以上）への対応が必要 ③50歳以上、特に前期高齢者の割合が低いことから、①②を優先実施する。 なお、当健保の特性として、健保加入期間が短い（継続した支援が行いづらい）ことに留意した対応が必要。	✓
2	イ	<医療費> ①一人当たり医療費は加齢とともに増加しているが、一般的に医療費が増えるとされる50歳以上の人数が少ないため、総額に占める影響は少ない。 ②ボリュームゾーンである若年層については、女性が男性より医療費が高額である。その理由として、女性は比較的症状が軽いことから医療機関を受診する（受診率が高い）ことが挙げられる。	➡	<左記健康課題への対応> ①予防可能とされる生活習慣病の医療費が高額な50歳代以上が少ないが、一人当たり医療費は高額であることから、予防対策（情報提供や保健指導）を講じる。 ②若年層の女性の医療費については、生活習慣病以外の受診が多いため、①を優先する。	✓
3	ウ	<疾病別医療費> ①医療費が高額になる疾病は、「呼吸器」「新生物」「消化器」「腎尿路」の順である。 ②被保険者では「消化器」「呼吸器」「精神」である。 ③被扶養者では「呼吸器」「新生物」「腎尿路」である。 ④「呼吸器」「精神」は、レセプト1件当たり医療費は低い、若年層ほどレセプト件数が多く、通院が多いことが挙げられる。	➡	<左記健康課題への対応> ①「呼吸器」対策・・・健保組合が対策可能な疾病はインフルエンザなどに限られるが、予防対策を講じる。 ②「消化器」対策・・・胃腸などであり、健保組合が対策可能な疾病は限られる。 ③「精神」対策・・・うつ病などメンタルヘルスの対応 ④上記のように、当健保は他健保のように循環器疾患、内分泌代謝などの生活習慣病の医療費は少ないが、健保組合が予防可能と言われていることから、その対策を重点実施する。	✓
4	エ	<着目疾病> ①生活習慣病である糖尿病、虚血性心疾患については男子、女性ともに40歳代で医療費が高額になる。 ②男性の若年層で受診率が高いのは、「皮膚科」「眼科」に次いで「精神（うつ病）」である。 ③女性は若年層受診率が高いのは、「皮膚科」に次いで「婦人科」である。	➡	<左記健康課題への対応> ①糖尿病、虚血性心疾患などの生活習慣病対策を重点実施する。 ②「皮膚科」「眼科」「精神」「婦人科」については健保組合の対応が困難であるが、今後、何らかの情報提供が出来ないか検討する。	✓
5	オ	<健康リスク> ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。	➡	<左記健康課題への対応> ①～④ 特定保健指導が開始される40歳時点ですでに「腹囲」「資質」のリスクを多く保有していることから、若年層の肥満対策が重要である。	✓

6	カ	<生活習慣・改善意識> ①定期的な運動習慣がない方が、男性79.0%、女性82.7%であり、運動習慣に課題があると考えられる。 ②就寝前に夕食をとる方が、男性38.5%、女性34.7%であり、特に、40歳代の食事習慣に課題があると考えられる。 ③睡眠不足の方が、男性44.6%、女性40.8%であり、特に、40歳代の睡眠に課題があると考えられる。 ④喫煙する方が、男性30.7%、女性16.0%であり、男性は業種平均より低い、女性の喫煙に課題があると考えられる。	➡	<左記健康課題への対応> ①～④ 派遣業の特性から、継続した健康増進活動を行うことや、食堂や運動施設の整備、受動喫煙対策を講じることが困難であるが、今後、何らかの情報提供を検討する。	✓
7	キ	<高リスク> ①40歳以上において、血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値超のリスクを保有しているが、服薬していない方が肥満者で50人（うち喫煙者19人）、非肥満者で29人（うち喫煙者4人）存在している。	➡	<左記健康課題への対応> ①健保医療職による医療機関の受診勧奨を、若年層も含めて継続実施する。	✓
8	ク	<後発医薬品> ①2016年度平均のジェネリック利用率（数量）は、66.0%であり、現時点では国の目標70%を達成している。 ②当健保のボリュームゾーンである20～30歳代は40歳代と比較すると利用率が低い。これは、疾病や医薬品の特性によるものと考えられる。	➡	<左記健康課題への対応> ①ジェネリック利用促進は、健保組合が対策可能な範囲は限られるが、差額通知、希望シール、切替効果測定、啓発を可能な範囲で実施する。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 加入者の健康増進及び医療費の適正化	事業全体の目標 加入者の健康意識向上 加入者の生活習慣改善 加入者の健康リスク改善 加入者の医療費削減
------------------------------	---

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	事業主との連携（コラボヘルス）
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	健診時の健康に対する意識づけと生活改善指導（医療専門職）
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	一般健診
疾病予防	成人病予防健診
疾病予防	婦人検診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康診断事後措置の健康指導
疾病予防	健康相談室での健康相談・保健指導
疾病予防	メンタルヘルス
疾病予防	家庭用常備薬購入補助金制度
疾病予防	インフルエンザ予防接種の補助金支給
疾病予防	データヘルス計画推進

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度		
アウトプット指標													アウトカム指標							
予算措置なし	1	既存	事業主との連携（コラボヘルス）	全て	男女	0～74	加入者全員	3	シ	【目的】若年層を含めた全年齢の被保険者における健康増進 ※当健保の特性である若年層が多いことへの対策が最重要課題 【概要】若年層を含めた健康増進事業を事業主と連携実施 ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	ア,イ	①産業医が参加する衛生委員会を事業主が定期開催（必要に応じ健保常務理事が参加） ②理事会、組合会における健康課題、データヘルス計画の情報共有 ③健保医療職による現場ベースでの事業主との連携	0	0	0	0	0	0	事業主との定期的な情報共有により課題を共有し、スムーズな連携を目指す。	＜加入者構成＞ ①被保険者は圧倒的に男性の割合が多く、扶養率が低い。 ②被保険者男性は、25～29歳が最も多く、30歳代も多い。 ③50歳以上は少ない。 ④子供、前期高齢者の割合が低い。
													＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導	＜事業主と連携して継続実施＞ ①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導		
													連携事業数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：4件 平成31年度：4件 平成32年度：4件 平成33年度：4件 平成34年度：4件 平成35年度：4件)①健診受診時の意識付け ②定期健診後措置 ③2次健診受診料負担 ④健康相談・保健指導 それぞれを1件とカウント							
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2,5	既存	機関紙発行	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	【目的】健保からの保健事業の情報提供 ①健診受診勧奨 ②ジェネリック利用促進 ③健康相談 ④予算・決算等告知等 【概要】機関紙（健保ニュース）を年2回発行	ス	外部委託の上、機関紙を発行 ＜事業費：健保ニュース1,620千円 健保のしおり168千円＞	1,788	1,788	1,788	1,788	1,788	1,788	紙面や配布方法など、読んでもらう改善により、特に被扶養者に確実な情報提供が出来ることを目指す。。 ＜生活習慣・改善意識＞ ①定期的な運動習慣がない方が、男性79.0%、女性82.7%であり、運動習慣に課題があると考えられる。 ②就寝前に夕食をとる方が、男性38.5%、女性34.7%であり、特に、40歳代の食事習慣に課題があると考えられる。 ③睡眠不足の方が、男性44.6%、女性40.8%であり、特に、40歳代の睡眠に課題があると考えられる。 ④喫煙する方が、男性30.7%、女性16.0%であり、男性は業種平均より低いが、女性の喫煙に課題があると考えられる。	
													＜年3回発行（発行部数：4,950部×3回）＞「健保のしおり」を1,300部発行し、新規採用者に別途配布 ※定期発行し、加入者に周知	原則、前年度事業を継続実施 必要に応じてデータヘルス計画に関する記事を掲載	原則、前年度事業を継続実施 必要に応じてデータヘルス計画に関する記事を掲載	原則、前年度事業を継続実施 必要に応じてデータヘルス計画に関する記事を掲載	原則、前年度事業を継続実施 必要に応じてデータヘルス計画に関する記事を掲載	原則、前年度事業を継続実施 必要に応じてデータヘルス計画に関する記事を掲載		
													発行回数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：3回 平成31年度：3回 平成32年度：3回 平成33年度：3回 平成34年度：3回 平成35年度：3回)-							本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため（アウトカムは設定されていません）
	2	既存	医療費通知	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	【目的】医療費及び自己負担額に関する情報提供 ①医療費節減意識の啓発 ②健康意識の醸成 【概要】1年に4回、医療費通知を送付	ス	外部委託	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	1,462	より確実な通知のため、今後、通知方法（紙ベース→WEBベースなど）の見直しを予定 ＜医療費＞ ①一人当たり医療費は加齢とともに増加しているが、一般的に医療費が増えるとされる50歳以上の人数が少ないため、総額に占める影響は少ない。 ②ボリュームゾーンである若年層については、女性が男性より医療費が高額である。その理由として、女性は比較的症状が軽いことから医療機関を受診する（受診率が高い）ことが挙げられる。	
													＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）	＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）	＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）	＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）	＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）	＜対象者に対する年4回発行＞（総発行部数18,000部を想定）		
													送付回数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：4回 平成31年度：4回 平成32年度：4回 平成33年度：4回 平成34年度：4回 平成35年度：4回)-							本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため（アウトカムは設定されていません）
疾病予防	2,5	新規	健診時の健康に対する意識づけと生活改善指導（医療専門職）	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	1	オ,コ	【目的】医療専門職により、若年層を含めた健康に対する意識づけ・生活習慣改善のための指導 【概要】健診受診者の多い一部地区（一部医療機関で若年層含め15分程度の指導を実施）で健診時に健診に対する意識づけと生活習慣改善を啓発	ウ,キ	外部委託（健診機関）	1,469	1,469	1,469	1,469	1,469	1,469	本事業は若年層を含めた意識付けを目標とする。また、若年層に実施することにより、特定保健指導の対象者減少にも資する。 ＜健康リスク＞ ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。	
													＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導	＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導 実施健診機関の拡大検討	＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導 実施健診機関の拡大検討	＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導 実施健診機関の拡大検討	＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導 実施健診機関の拡大検討	＜意識づけと生活改善指導＞ 健診受診の入り口段階での健康指導 実施健診機関の拡大検討		
													実施者数(【実績値】 273人 【目標値】平成30年度：270人 平成31年度：270人 平成32年度：270人 平成33年度：270人 平成34年度：270人 平成35年度：270人)対象者全員への意識づけを実施 今後、実施健診機関の拡大による実施者数の増加を目指す（目標はその際に再設定）。							現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため（アウトカムは設定されていません）
個別の事業																				
													8,175	8,175	8,175	8,175	8,175	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連										
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画																	
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度												
アウトプット指標													アウトカム指標																	
特定健康 診査事業	3	既存 （法定）	特定健診（被 保険者）	全て	男女	40 ～ 74	被保険 者	1	ク,ケ,コ	【目的】生活習慣病に関 する健康状態を把握し、 早期の対策（特定保健指 導や情報提供）に繋げる 【概要】事業主健診と併 せて実施	ア,コ	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診と併せて実施	事業主健診データの確実なデータ受領 特定保健指導対象者の減少を目指す	<健康リスク> ①腹囲リスクは、40歳時点で男性 の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とと もに増加するが、男性の50歳で39. 4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とと もに増加するが、男性の55歳で急 激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性 の55.9%が保有している。 <疾病別医療費> ①医療費が高額になる疾病は、「 呼吸器」「新生物」「消化器」「 腎尿路」の順である。 ②被保険者では「消化器」「呼吸 器」「精神」である。 ③被扶養者では「呼吸器」「新生 物」「腎尿路」である。 ④「呼吸器」「精神」は、レセプ ト1件当たり医療費は低いが、若年 層ほどレセプト件数が多く、通院 が多いことが挙げられる。 <着目疾病> ①生活習慣病である糖尿病、虚血 性心疾患については男子、女性と もに40歳代で医療費が高額になる 。 ②男性の若年層で受診率が高いの は、「皮膚科」「眼科」に次いで 「精神（うつ病）」である。 ③女性はの若年層受診率が高いの は、「皮膚科」に次いで「婦人科 」である。 <生活習慣・改善意識> ①定期的な運動習慣がない方が、 男性79.0%、女性82.7%であり、運 動習慣に課題があると考えられる 。 ②就寝前に夕食をとる方が、男性3 8.5%、女性34.7%であり、特に、4 0歳代の食事習慣に課題があると思 えられる。 ③睡眠不足の方が、男性44.6%、女 性40.8%であり、特に、40歳代の 睡眠に課題があると考えられる。 ④喫煙する方が、男性30.7%、女性 16.0%であり、男性は業種平均よ り低いが、女性の喫煙に課題があ ると考えられる。									
													事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続	事業主健診と併せて実施 確実なデータ受領を継続											
													受診率(【実績値】91.5% 【目標値】平成30年度：92.8% 平成31年度：92.8% 平成32年度：92.8% 平成33年度：92.8% 平成34年度：92.8% 平成35年度：92.8%)-									積極的支援対象率(【実績値】19.3% 【目標値】平成30年度：12% 平成31年度：12% 平成32年度：12% 平成33年度：12% 平成34年度：12% 平成35年度：12%)・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未達が目標）								
																										動機付支援対象率(【実績値】10.5% 【目標値】平成30年度：15% 平成31年度：15% 平成32年度：15% 平成33年度：15% 平成34年度：15% 平成35年度：15%)・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未達が目標）				
													0	0	0	0	0	0												

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,コ	【目的】生活習慣病に関する健康状態を把握し、早期の対策（特定保健指導や情報提供）に繋げる 【概要】特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制）	ス	被扶養者にとり受けやすいコースを複数提供しており、また、若年層からの健診受診の習慣づけが進んでいることが受診率向上に寄与している。今後も高い受診率を継続するため、広報誌等で定期的な啓発を実施していく。	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定健診および胃X線・腹部超音波・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん検診（選択制） ●未受診者へのリマインドを継続実施 ●定期的な啓発実施	特定保健指導対象者の減少を目指す	<健康リスク> ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。 <疾病別医療費> ①医療費が高額になる疾病は、「呼吸器」「新生物」「消化器」「腎尿路」の順である。 ②被保険者では「消化器」「呼吸器」「精神」である。 ③被扶養者では「呼吸器」「新生物」「腎尿路」である。 ④「呼吸器」「精神」は、レセプト1件当たり医療費は低いが、若年層ほどレセプト件数が多く、通院が多いことが挙げられる。 <着目疾病> ①生活習慣病である糖尿病、虚血性心疾患については男子、女性ともに40歳代で医療費が高額になる。 ②男性の若年層で受診率が高いのは、「皮膚科」「眼科」に次いで「精神（うつ病）」である。 ③女性のはの若年層受診率が高いのは、「皮膚科」に次いで「婦人科」である。 <生活習慣・改善意識> ①定期的な運動習慣がない方が、男性79.0%、女性82.7%であり、運動習慣に課題があると考えられる。 ②就寝前に夕食をとる方が、男性38.5%、女性34.7%であり、特に、40歳代の食事習慣に課題があると考えられる。 ③睡眠不足の方が、男性44.6%、女性40.8%であり、特に、40歳代の睡眠に課題があると考えられる。 ④喫煙する方が、男性30.7%、女性16.0%であり、男性は業種平均より低いが、女性の喫煙に課題があると考えられる。					
受診率(【実績値】71% 【目標値】平成30年度：67.1% 平成31年度：68.8% 平成32年度：70.3% 平成33年度：73.1% 平成34年度：75.9% 平成35年度：80.2%)-													積極的支援対象率(【実績値】2.7% 【目標値】平成30年度：5% 平成31年度：5% 平成32年度：5% 平成33年度：5% 平成34年度：5% 平成35年度：5%)・積極的支援対象率は法定報告の項番33で測定（数字は未滿が目標）												
-													動機付支援対象率(【実績値】9.3% 【目標値】平成30年度：5% 平成31年度：5% 平成32年度：5% 平成33年度：5% 平成34年度：5% 平成35年度：5%)・動機付け支援対象率は法定報告の項番40で測定（数字は未滿が目標）												
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ,オ,キ,ク,コ,シ	【目的】医療専門職による生活習慣改善指導によるメタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施（食事、運動、禁煙等）	ウ,キ,コ	①健診機関による実施 ②外部委託（訪問型） ③外部委託（遠隔型）	471	471	471	471	471	-	特定保健指導対象者の減少	<健康リスク> ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。 <高リスク> ①40歳以上において、血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値超のリスクを保有しているが、服薬していない方が肥満者で50人（うち喫煙者19人）、非肥満者で29人（うち喫煙者4人）存在している。					
	実施率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：7.2% 平成31年度：10.0% 平成32年度：16.2% 平成33年度：22.4% 平成34年度：28.7% 平成35年度：55.1%)-													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：30% 平成31年度：30% 平成32年度：30% 平成33年度：30% 平成34年度：30% 平成35年度：30%)・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率は法定報告の項番31で測定											
														-	-	-	-	-	-						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
疾病 予防	3	既存	一般健診	全て	男女	18 ～ 34	被保険者	3	イ,オ,キ	-	ア	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	健康リスクの早期発見	＜健康リスク＞ ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。					
	受診者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：400人 平成31年度：400人 平成32年度：400人 平成33年度：400人 平成34年度：400人 平成35年度：400人) ※目標は毎年見直し													現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
	3	既存	成人病予防健診	全て	男女	35 ～ 39	被保険者	3	イ,オ	-	イ,ウ	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	健康リスクの早期発見	＜健康リスク＞ ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。					
	受診者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：400人 平成31年度：400人 平成32年度：400人 平成33年度：400人 平成34年度：400人 平成35年度：400人) ※目標は毎年見直し													現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
	3	既存	婦人検診	全て	女性	18 ～ 39	被保険者	3	ウ,キ,ク	-	ウ	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	対象疾病の早期発見	＜疾病別医療費＞ ①医療費が高額になる疾病は、「呼吸器」「新生物」「消化器」「腎尿路」の順である。 ②被保険者では「消化器」「呼吸器」「精神」である。 ③被扶養者では「呼吸器」「新生物」「腎尿路」である。 ④「呼吸器」「精神」は、レセプト1件当たり医療費は低いが、若年層ほどレセプト件数が多く、通院が多いことが挙げられる。					
受診者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：200人 平成31年度：200人 平成32年度：200人 平成33年度：200人 平成34年度：200人 平成35年度：200人) ※目標は毎年見直し													現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)												
3,4	既存	人間ドック	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,被扶養者	3	イ,ウ	-	ウ	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	健康リスクの早期発見	＜着目疾病＞ ①生活習慣病である糖尿病、虚血性心疾患については男子、女性ともに40歳代で医療費が高額になる。 ②男性の若年層で受診率が高いのは、「皮膚科」「眼科」に次いで「精神(うつ病)」である。 ③女性はの若年層受診率が高いのは、「皮膚科」に次いで「婦人科」である。						
受診者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：200人 平成31年度：200人 平成32年度：200人 平成33年度：200人 平成34年度：200人 平成35年度：200人) ※目標は毎年見直し													現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)												
													-	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						実施計画											
												平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度						
アウトプット指標												アウトカム指標											
2,3,4	既存	健康診断事後措置の健康指導	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,ク,ケ	-		ア,イ,コ	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	早期の行動変容・意識づけ・受診勧奨	＜健康リスク＞ ①腹囲リスクは、40歳時点で男性の45.9%が保有している。 ②空腹時血糖リスクは、加齢とともに増加するが、男性の50歳で39.4%となる。 ③収縮期血圧リスクは、加齢とともに増加するが、男性の55歳で急激に増加し、35.0%となる。 ④LDL-Cリスクは、40歳時点で男性の55.9%が保有している。 ＜高リスク＞ ①40歳以上において、血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値超のリスクを保有しているが、服薬していない方が肥満者で50人（うち喫煙者19人）、非肥満者で29人（うち喫煙者4人）存在している。			
実施者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：600人 平成31年度：600人 平成32年度：600人 平成33年度：600人 平成34年度：600人 平成35年度：600人) ・医療機関への新規および継続受診の促進・受診率 H28：585名 H29：595名												現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
5,6	既存	健康相談室での健康相談・保健指導	全て	男女	18～74	被保険者	3	オ	-		イ,ウ	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	こころとからだの健康相談	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
指導実施者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：200人 平成31年度：200人 平成32年度：200人 平成33年度：200人 平成34年度：200人 平成35年度：200人)※事業主において測定												現時点では本事業のアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
予防接種実施者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：200人 平成31年度：200人 平成32年度：200人 平成33年度：200人 平成34年度：200人 平成35年度：200人)※アウトプット指標は平成30年度に設定予定 ※事業主において測定																							
5	既存	メンタルヘルス	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ		こころとからだの健康相談（当健保独自メニューを外部委託事業者と作成） ※従来の事業の大幅拡充と周知の実施	ウ	-	①こころとからだの健康相談（当健保独自メニューを外部委託事業者と作成） ※従来の事業の大幅拡充と周知の実施	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	こころとからだの健康相談	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
相談件数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：200件 平成31年度：200件 平成32年度：200件 平成33年度：200件 平成34年度：200件 平成35年度：200件) ・相談件数 H28：70件 H29：90件 (H25：55件)												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
8	既存	家庭用常備薬購入補助金制度	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-		ス	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	セルフメディケーション推進	＜医療費＞ ①一人当たり医療費は加齢とともに増加しているが、一般的に医療費が増えるとされる50歳以上の人数が少ないため、総額に占める影響は少ない。 ②ポリウムゾーンである若年層については、女性が男性より医療費が高額である。その理由として、女性は比較的症状が軽いうちから医療機関を受診する（受診率が高い）ことが挙げられる。			
補助件数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：300件 平成31年度：300件 平成32年度：300件 平成33年度：300件 平成34年度：300件 平成35年度：300件)												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)											
3	既存	インフルエンザ予防接種の補助金支給	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	ス	-		ス	-	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	①基本的に前年度実施状況を評価し、継続 (必要な改善を実施)	インフルエンザ予防	＜疾病別医療費＞ ①医療費が高額になる疾病は、「呼吸器」「新生物」「消化器」「腎尿路」の順である。 ②被保険者では「消化器」「呼吸器」「精神」である。 ③被扶養者では「呼吸器」「新生物」「腎尿路」である。 ④「呼吸器」「精神」は、レセプト1件当たり医療費は低いが、若年層ほどレセプト件数が多く、通院が多いことが挙げられる。			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度		
アウトプット指標													アウトカム指標							
補助者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：500人 平成31年度：500人 平成32年度：500人 平成33年度：500人 平成34年度：500人 平成35年度：500人)-													本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため (アウトカムは設定されていません)							
1,2,3, 4,5,6, 7,8	既 存	データヘルス 計画推進	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ア,イ,ウ,エ ,オ,カ,キ, ク,ケ,コ,サ ,シ,ス	みずほ情報総研に委託し、 第1期データヘルス計画 の振り返り及び第2期データ ヘルス計画の策定 ※第2期については健診・ レセプトデータ分析を含む ※当健保の保健事業の課題 整理、見直し支援を含む	ア,イ,ウ,エ ,オ,カ,キ, ク,ケ,コ,サ ,シ,ス	外部委託	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	厚労省が指定する手順に従い、第1期データ ヘルス計画の課題整理、見直しを実施。第2 期データヘルス計画については、当健保の 特性（労働者派遣業）や後期高齢者支援金 減算指標を考慮し、データ分析の上策定。	＜加入者構成＞ ①被保険者は圧倒的に男性の割合 が多く、扶養率が低い。 ②被保険者男性は、25～29歳が最 も多く、30歳代も多い。 ③50歳以上は少ない。 ④子供、前期高齢者の割合が低い 。	
												保健事業の計画、見直し	保健事業の計画、見直し	保健事業の計画、見直し	保健事業の計画、見直し	保健事業の計画、見直し	保健事業の計画、見直し			保健事業の計画、見直し
PDCA実施回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 平成31年度：1回 平成32年度：1回 平成33年度：1回 平成34年度：1回 平成35年度：1回)-													本事業単独でのアウトカム評価が困難 (アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ＩＣＴの活用（情報提供でのＩＣＴ活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス. その他